

◎ 国語部門

1 行事及び内容

(1)研究委員会

- ①第一回研究委員会：6月6日（木）
 - ・事業計画 ・文集「あまくさ」第53集の編集方針と募集要項の検討
 - ・研究発表会の検討
 - ②第二回研究委員会：7月31日（水）＊旅費別
 - ・研究発表会の開催要項 ・指導案の検討
 - ③第三回研究委員会：8月26日（月）
 - ・研究発表会の開催要項
 - ④第一回文集「あまくさ」編集委員会：12月26日（木）
 - ・編集までの日程と審査基準の確認および審査 ※学校図書館教育部門と合同
 - ⑤第二回文集「あまくさ」編集委員会：1月6日（月）
 - ・審査反省および入賞者名簿の作成
 - ⑥第三回文集「あまくさ」編集委員会：1月24日（金）
 - ・第五十三集の校正と編集の反省
 - ⑦第四回研究委員会：2月7日（金）
 - ・国語部門年間反省 ・次年度へ向けて
- ～その他の活動～
- ※小学校県文集「ゆめ」天草郡市審査会：10月29日（火）
小学校県文集「ゆめ」県審査（下中一平教諭）：11月16日（土）

(2)本年度の研究発表会について

研究テーマ「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」のもと、9月24日（火）に天草市立河浦中学校において以下の内容で研究発表会を実施した。
（参加者：小学校32名 中学校24名）

授業 「字のない葉書」（中学2年） 授業者：河浦中 射場 美智子 教諭

指導助言・講話 講師：佐賀大学文化教育学部 達富洋二 教授

2 成果と課題

本年度は、部門別研修が今の形態になって3回目の研究発表会を実施した。授業者、会場、そして日程等を調整、決定することに苦慮した。研究発表会には、56名の先生方に参加していただいた。達富洋二教授のご示唆、ご助言を経て、新学習指導要領に対応した指導案形式、授業展開を射場美智子教諭が示したことは大きな学びとなった。河浦中学校の2年の生徒たちが、真摯に言語活動に取り組んでいる姿を小学校の先生方にも見ていただいたことで、小学校で身に付けるべき力、態度について、小中9年間の系統をあらためて考える機会ともなった。また、達富先生の講演は、参加者の先生方からも満足いく研修会であったとの評価をいただいた。先生方のニーズに合致したものだだったと自負している。会場校の先生方に大変お世話になった。

文集「あまくさ」第53集は学校図書館部門との合同審査を経て無事発行することができた。応募条件の「5枚程度」を「3枚程度」としたこと、授業で取り組んだ言語活動も可としたことで応募総数が増えた。日々の授業において文集「あまくさ」を手に取り、児童生徒が目に触れる機会、文集「あまくさ」を言語活動のモデルとして活用する機会が増えれば幸いである。多くの先生方に、審査の協力をしていただいた。先生方の指導力向上にもつながったと思う。